

科目名		授業形態	担当教員名	
看護学概論		講義	土肥 加津子・梁 ヨリ子・益田 光子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
看護学の学習を通し、保健・医療・福祉分野および人々の生活における看護の役割について講義する。				
授業の到達目標				
体験やグループワークなどの参加型学習を通して、看護の知識を理解し、臨床工学技士と看護師との協同について説明できるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	看護と看護職の歴史			
2	人間の尊厳と倫理			
3	チーム医療と看護師の役割			
4	看護の要素 (1) 観察・バイタルサイン (2) 環境整備			
5	看護の要素 (3) マネジメント・調整 (4) コミュニケーション			
6	看護の実際～臨床工学技士との協同			
7	看護の“場”の拡大 (1) 病院看護と地域看護（災害、国際含む） (2) 予防と健康			
8	医療、社会への貢献～看護のその先			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	筆記試験		
レポート	20%	毎回の講義に関するレポート提出とその内容評価		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
看護覚え書—看護であること看護でないこと	フローレンス・ナイチンゲール著、湯槇 ます・薄井 坦子・小玉 香津子訳		現代社	
自由記載				
備考				